

世界各地で大規模システム障害 影響を受けた端末は推定850万台

経営学部経営学科 22161412 高橋 和真

概要

日本時間の19日、世界各地で、コンピューターのセキュリティーソフトが原因となって、大規模なシステム障害が起きたことについて、マイクロソフトは、影響を受けた端末は、推定で850万台に上ることを明らかにしました。

日本時間の19日に発生したシステム障害は、ヨーロッパやアジア、アメリカの空港に広がったほか、中東などの医療機関、イギリスのテレビ局の放送など、幅広い分野に影響を与えました。



概要

アメリカのIT大手マイクロソフトなどによりますと、このシステム障害は、アメリカの情報セキュリティー会社、「クラウドストライク」のソフトウェア「ファルコン」の更新にともない、マイクロソフトの基本ソフト、ウィンドウズを搭載した端末で起きたということです。

これについてマイクロソフトは20日、影響を受けた端末は推定で850万台に上ることを明らかにしました。


これはウィンドウズを搭載している端末の1%未満だったということです。



概要

マイクロソフトは「影響を受けた端末の割合は低いものの、経済的、社会的な影響は大きく、クラウドストレージが重要なサービスを提供する多くの企業で使われていることを示している」としています。世界各地に影響が広がった今回のシステム障害による影響はいまも一部で続いているところがありますが、おおむね収束しています。





コメント


松本 国一

富士通株式会社 シニアエバンジェリスト

Windowsシステム搭載の1%に被害が出た。とのことですが、コンシューマー向けを除くとかなり高い確率でトラブルの被害にあったようです。

全世界で850万台、それらはオフィス用途以外にも制御系などでも活用されていることも多くあります。

工場、空港、小売・・・今やデジタルシステムはどこでも当たり前に使われる時代です。



感想

一サービスのバグとは違い、世界規模のダメージを起こしてしまったというのは、信用問題、犯罪の横行、インフラに影響を与えるといった数々のリスクがあります。

アップデートの際のバグであっても、事前に気づけなかったというヒューマンエラーは今後も防いでいかないといけないと思いました。